

結いだより

2017年9月5日発行

第90号

「いい会社訪問® スノーピーク in 新潟」



山井社長は、自らも熱心なキャンプ愛好家です。キャンプではお互いが素になる、体内リズムが変わる、アイデアが湧くといった具体例を示されていました。夕方からのキャンプへ向けて、参加者の期待が一気に高まった瞬間でした。



本社拠点「ヘッドクォーターズ」併設の広大なキャンプサイトは、牧場の跡地を活用したもの。「スノーピーカー」と呼ばれる熱烈なファンには聖地と言われることも。「自らもユーザーである」という創業以来の原点を貫く場としても機能しています。



本社拠点にはクリエイティブな役割や機能が集中。キャンプ用品が配置された空間にはリラックスした雰囲気が漂います。



オペレーションコア HQ2では、同社のロングセラー商品である焚火台の製造現場を見学しました。

「いい会社訪問。スノーピーク in 新潟」の様子を紹介します。

8月10日、11日に、「いい会社訪問」を実施しました。今回は、新潟県を拠点にアウトドア製品を製造販売するスノーピークさんへの訪問です。

見附市の製造・物流拠点「オペレーションコア エ02」、三条市の本社拠点「ヘッドクォーターズ」の2拠点を視学。さらに、本社併設のキャンプサイトで、1泊2日のキャンプを開催しました。キャンプが初めての方も含め、たくさんの受益者の方が参加されました。

製造・物流拠点「オペレーションコア エ02」は、今年3月に移動したばかりです。ここではオフィスや製造現場などを見学し、グローバルな事業拡大を見据えた取り組みを知ることができました。

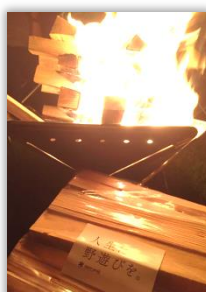


山井社長から参加の皆様へお酒の差し入れ。

本社拠点「ヘッドクォーターズ」では、企画、デザインなどを生み出す現場を見学しました。併設のキャンプサイトでは、社員、社長もキャンプをします。徹底したユーザー目線に溢れた製品づくりの源となる環境に触れることができました。

見学のおわりには、山井社長に講演いただきました。会社の成り立ちのほか、「人間性の回復」という一貫した使命のもとで、キャンプ用品の製造販売だけでなく、グランピング施設等の事業領域にも挑戦されていることが印象的でした。

見学、講演を終え、夕方からはキャンプ体験へ。紙ヒコーキ大会、品々、テント泊などを通じて、「人生に野遊びを。」というスノーピークのメッセージに共感を覚えるひとときとなりました。



BBQ、焚火には、オペレーションコア HQ2で製造される焚火台を使用。



スノーピーク社員さんの指導によるテント設営を体験。製品に凝らされた様々な工夫を肌で感じ、驚きと満足の声がいづつもあがりました。

「結い 2101」投資先 いい会社のいいモノ

KAGOME

「カゴメトマトジュースプレミアム 食塩無添加 200ml」



← カゴメトマトジュース専用トマト 凛々子

8月18日、投資先のいい会社のひとつ、カゴメ株式会社 那須工場を見学してきました。



(左)
素敵なベジタブルカービングが
出迎えてくれました。タイ国で
おこなわれたカービングコンテ
スト世界大会で金メダルをとっ
た社員さんが作成したものです。

那須工場長から、同社の歴史や主力商品等のお話を伺い、稼働しているトマトジュースの作業工程を一つひとつ見学しました。

カゴメさんは、約10,000種類あるトマトの種子のうち7,500種を保有し、那須工場に隣接している研究開発本部で日々研究がおこなわれています。

(右)
17世紀半ばに渡来した当時の
トマトは「唐なすび」といわれ、
カボチャのような形態をしていま
した。ちなみにこのトマトは食用で
はなく、もっぱら観賞用として珍
重されていたそうです。



「カゴメの歴史は愛知県の農家から始まった」

今回レクチャーしていただいたカゴメの社員さん全員が云われていました。創業者 蟹江一太郎翁の、農家を大切にする気持ちが、社員の方々に浸透していることが窺える大事な言葉だと感じました。



日本人の野菜摂取量を補う努力を惜しまないカゴメさん。「トマトの会社から、野菜の会社にな」というビジョンを掲げたカゴメさんの発展にご期待ください！

(左)
旬のとれたてトマトを使い、生トマトをかじったようなおいしさが味わえる数量限定・期間限定のストレートトマトジュースです。是非お試しください！



今月のShine(社員)

井上さん

八月から鎌倉投信に入社し、ファンド管理チームの一員となった井上さんを紹介します。
井上さんは、先月号で紹介した田端さんと同じく、元々「結い2101」の受益者です。
金融業は未経験ですが、これまで弁護士として法律事務所や企業の法務部門に勤務していた経験は当社でも活かすことができます。

週末はヨガや家庭菜園をして過ごす自然派。鎌倉投信の多様性を広げる存在として期待しています！



証券六法が似合います。



「いい会社訪問。スノーピーク in 新潟」に参加された方々の感想を掲載します。

◆以前から一度訪問してみたいと思っていたスノーピークさんの本社キャンパスを訪れる機会を作っていただき、とても良い機会となりました。また、ただ訪れるだけでなく、社員の方の意見を聞けたり、働かれていますの様子を観たり、山井社長のお話をお聞きできる機会も持てたというのはいよいよ鎌倉投信さんを通しての賜物だと感じました。(30代 男性)

◆会社情報はテレビや講演会で見たり、聞いたりしています。でも実際に行く、使う、泊まることで商品の良さがわかりました。テント他本当に良くできています。ちょうど雨が降り、テントやマットが高性能であることを実感しました。(40代 女性)

◆スノーピークの会社見学、山井社長の講演と質疑応答、キャンプ体験と、約24時間という限られた時間をとても充実した盛り沢山の内容であり、その一つ一つがとても感動できるものでした。個人旅行では実現できない山井社長の講演や、スノーピーク社員の皆様の丁寧な対応は、鎌倉投信とスノーピークの高い信頼関係があつてこそ、実現できるものであると思います。その信頼を分けて頂き、このように時間を過ごせたことに心より感謝致します。(30代 男性)

FAN-AND WITH



平成30年以降のNISA制度について の案内です。

平成30年から非課税管理勘定設定期間が切替わります。既にNISA口座をお持ちのお客様で、マイナンバーを当社に提出済みのお客様は、**特段の手続きなく**来年以降もNISA口座を引き続き利用することができます。

継続を希望されているお客様で、まだマイナンバーを提出でない方はお早目に提出ください。

本年のNISA口座枠を当社にお持ちのお客様へは、その案内を7月31日に郵送していますので、確認ください。

来年以降も当社でNISAを継続したい方

マイナンバー提出済み ⇒ 手続き不要
マイナンバー未提出 ⇒ マイナンバーを提出

来年以降は当社でNISAを継続しない方

「交付申請書のみなし提出不適用届出書」を提出
※今年中にNISA口座を他の金融機関へ変更したい方は「金融機関変更届」または「非課税口座廃止届」を請求ください。

**いずれも9月28日当社必着となりますので、
注意ください。**

ご自身の状況がわからないなど、不明点がありましたら、ご遠慮なく鎌倉倶楽部まで問い合わせください。

来年から当社でNISAを始めたい方

来年用のNISA口座申込書を請求ください（平成29年までの申込書では承ることができません）。

つみたてNISAをご検討のお客様

当社では「つみたてNISA」制度への対応を検討しています。**同制度を利用希望のお客様も、上記のNISA口座の継続手続きが必要です。**また、11月以降「つみたてNISA」への切替手続きが別途必要になりますので、当社ホームページ、「結いだより」などで情報を確認ください。

NISAについての詳細はこちら
<http://www.kamakuraim.jp/nisa/>

第8回「結い 2101」受益者総会® 登壇される経営者の「いい会社」紹介



加藤 雄一 氏
株式会社 アドバネクス
代表取締役 会長 CEO



アドバネクスさんは本社主導の押しつけをおこなわず、グループ全体で問題を共有し、議論して最適なものを選び、それを全体でベストプラクティスとしておこなう＜自立型ネットワーク経営＞を実践しています。

第8回「結い2101」受益者総会® 企業展示情報

リサイクルインフラのリーディングカンパニーである日本環境設計さんより、名車デロリアンを展示していただけることが決まりました。

衣料品からバイオエタノールを生産する同社のリサイクル技術に注目です。

会場入口付近に展示する予定です。ご期待ください！

HP <http://www.jeplan.co.jp/ja/>



鎌倉投信「結い 2101」秋の運用報告会

運用報告会のご案内を開始しています。

開催スケジュールは、「結いだより89号」または当社ホームページで確認ください。

開催地：東京・大阪・名古屋・札幌・仙台・大宮・岡山・福岡（埼玉）

申込はこちら

HP <http://www.kamakuraim.jp/events/>
☎ 050-3536-3300（平日 9:00から17:00まで）

「結い 2101」 運用報告

鎌倉投信が定義する「投資の果実」は、「資産形成×社会形成×豊かなこころの形成」です。こころの形成については個人によって異なるため、この運用報告では、投資の果実としての「資産形成」と「社会形成」について報告していきます。

【資産形成】

8月の国内株式市場は、複数の幹部が辞任した米国政権の不安定さや北朝鮮による弾道ミサイル発射などを受け、TOPIXなどの株価指数は若干の下落となりました。

一方「結い 2101」は、先月に引き続き「ニッポン高度紙工業」さん等一部の銘柄が大きく上昇したことなどもあり、8月末の基準価額は前月末と比べて149円高い、17,874円となりました。

投資行動では、ファンが多くユニークな商品開発に特徴がある「ほぼ日」さんや精密ばねというグローバルニッチな会社である「アドバネクス」さんなどを中心に追加投資をおこなったため、株式組入比率は前月末より若干上がり、約61%となっています。

また、債券に関しては、現状を維持したため、債券組入比率は前月末からほぼ変わらず約4%となっています。

8月は1社を新規銘柄として組入をおこなったため、組入会社数は、62社となりました（開示基準に達していない銘柄が1社あります）。

【社会形成】

8月は、投資先で林業・地域再生をしている「トビムシ」さんの現地がある飛騨市に行き、60人ほどの高校生に講演をおこないました。弊著「幸せな人は『お金』と『働く』を知っている」（イーストプレス）は、

この講演のテキストになっています。講演後、高校生たちは、飛騨のFabcafeを訪れ、間伐材の活用を推進するために世界のクリエイターたちが活動する現場を訪れました。この活動を通じて、若い人たちが社会課題に向き合うことの面白さを知ってもらえたらと考えています。

【「結い 2101」 運用概況（2017年8月31日現在）】

基準価額※:	17,874円
純資産総額※:	29,456,423,635円
顧客数:	17,498人 (うち「定期定額購入」を選択されている顧客数9,987人)
組入会社数:	62社
株式組入比率:	60.5%
債券組入比率:	3.7%

(※用語解説)

基準 価 額: 投資信託の計算日の純資産総額を総口数で除したもので、1万口当たりの時価（評価額）を表示します。基準価額は、組み入れ有価証券等の価格の上下動によって変動します。

純資産総額: 投資信託の信託財産を時価で評価した資産総額から負債総額を控除した金額のことです。この純資産総額は主に、①皆様の設定解約と②組み入れ会社の株価の上下動によって変動します。

■ 運用コラム : 第89回 ■ 【順調な時のジレンマ】

今回は、「結い 2101」の基準価額が高値を更新し、順調な状況下でのジレンマについてお話します。

【高値更新のジレンマ】

「結い 2101」の基準価額は8月末に高値を更新しました。運用責任者として、高値を更新することは、非常に重要なことです。なぜならば、高値を更新していれば、全てのお客様のリターンがプラスのパフォーマンスであるからです。これは、「結い 2101」が信託報酬（年率1.08%）以外の手数料等を取っていないからこそいえることですが、お客様がどのタイミングでも購入できる商品のため、高値を更新していない限り、損をしている人が必ずいる（分配がある場合は別途考慮が必要）ことになります。分かりやすいので、逆に基準価額が上がると高く買って買えない、下がるのでは？と考える方が出てきます。ちなみに基準価額の高さは、その後の基準価額に影響するものではありません。先月の運用コラムで分配の見送りについて述べましたが、見送ると基準価額が高くなってしまいますから、そう考える方が増えてしまいます。NISA制度の課題等があり分配を見送っていますが、そこにジレンマがあります。

【低い変動性のジレンマ】

今年の株式市場は非常に安定的で大きな下落がありません。すると今の運用の仕組みでは、株式を多く入れるように推奨データが出てきます。しかし、北朝鮮などの地政学リスクが高まる中、非常に難しいかじ取りをする必要があります。現状は、基準価額の上昇が企業業績の上昇よりも大きいので、株式の組入比率を押さえてくれる機能が働いていて、60%のウェイトを維持しています。この推奨機能は、地政学リスクと直接結びついている機能ではなく、たまたまそう出ただけで、運用責任者としては、ジレンマを抱えながら、皆様に安心していただけるような改良を考える日々です。

新井 和宏（取締役 資産運用部長）

企業年金・公的年金を中心とした、株式、為替、資産配分等、運用業務のエキスパート。日系信託銀行、外資系運用会社を経て、鎌倉投信(株)を創業。「結い 2101」の運用責任者として、日本株式の調査研究・運用手法の開発を実施。(個人が保有する株式・投資信託等投資商品のうち、「結い 2101」が占める割合は100%、ただし鎌倉投信(株)の株式を除く)



本資料は、鎌倉投信によって作成された、投資家向けの情報提供資料で、投資信託販売用資料ではありません。

<資産運用に関する注意事項>

投資信託のお申し込みに際しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願いいたします。

・投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護対象にはなりません。

また、「結い 2101」は、投資者保護基金の対象でもありません。

・投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。

・本資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

・本資料に記載の内容は、将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。

また、本資料は、鎌倉投信が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料の使用権は、鎌倉投信に帰属します。

・「結い 2101」をご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面および金融商品の販売等に関する法律に基づく重要事項の説明等の重要事項説明書をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、内容をよくお読みください。

・「結い 2101」の投資信託説明書（交付目論見書）については、鎌倉投信までお問い合わせください。

<苦情処理措置および紛争解決措置について>

鎌倉投信は加入協会から苦情の解決および紛争の解決のあっせん等の委託を受けた特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（連絡先:0120-64-5005）を利用することにより金融商品取引業等業務関連の苦情および紛争の解決を図ります。

鎌倉投信株式会社:金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長(金商)第2293号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

鎌倉投信株式会社 鎌倉倶楽部 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下四丁目5-9 TEL 050-3536-3300 (代表) FAX 050-3536-3301

© Kamakura Investment Management Co.,Ltd.

「結い 2101」 運用状況(月次)

運用方針

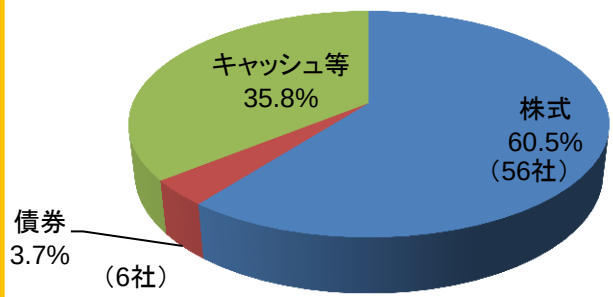
【基準日:2017年8月末日】

「結い 2101」は、投資家の長期的な資産形成と社会の持続的発展に貢献するために、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内を中心に、社会との調和の上に発展する次のような企業の株式に投資することにより運用を行うことを基本とします。

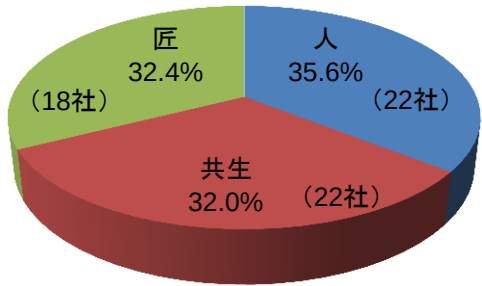
- ① これからの日本に必要とされる企業
- ② 顧客・消費者、社員とその家族、取引先、地域、自然・環境、株主等を大切に、持続的で豊かな社会を醸成できる企業
- ③ 「人」：人財を活かせる企業
- ④ 「共生」：循環型社会を創る企業
- ⑤ 「匠」：日本の匠な技術・優れた企業文化を持ち、また感動的なサービスを提供する企業

ポートフォリオの状況

資産構成比



テーマ別構成比



・時価総額基準での構成比率です。

投資先企業上位10社

コード	会社名	構成比		市場	業種	テーマ
		有価証券 残高比	純資産 総額比			
3891	ニッポン高度紙工業	2.2%	1.4%	JASDAQ	パルプ・紙	匠
7956	ビジョン	2.1%	1.3%	東京一部	その他製品	人
4082	第一稀元素化学工業	2.0%	1.3%	東京二部	化学	匠
3794	エヌ・テックソフトウェア	2.0%	1.3%	東京二部	情報・通信業	共生
6278	ユニオンツール	2.0%	1.3%	東京一部	機械	匠
7716	ナカニシ	2.0%	1.3%	JASDAQ	精密機器	匠
4967	小林製薬	2.0%	1.3%	東京一部	化学	人
6455	モリタホールディングス	2.0%	1.3%	東京一部	輸送用機器	匠
2540	養命酒製造	2.0%	1.3%	東京一部	食料品	共生
6856	堀場製作所	2.0%	1.3%	東京一部	電気機器	匠

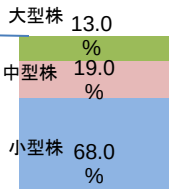
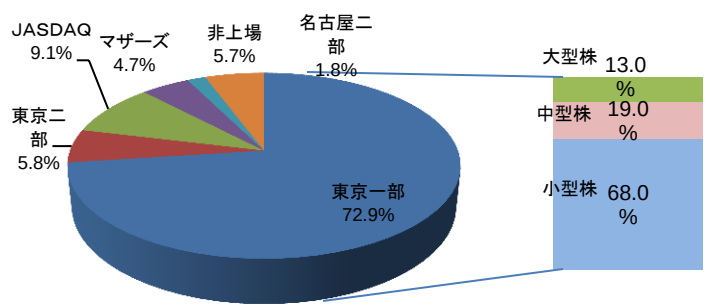
・等金額投資をしているため、基本的に投資先の構成比は同一ですが、時価変動等により、基準構成比を上回っていないかを確認するために、参考として組入上位10社を表示しています。

開示基準に達した新規投資銘柄の公表 (2017年8月末 時点)

コード	会社名	構成比		市場	業種	テーマ
		有価証券 残高比	純資産 総額比			
3560	ほぼ日	0.6%	0.4%	JASDAQ	小売業	人
5998	アドパネクス	0.8%	0.5%	東京一部	金属製品	匠

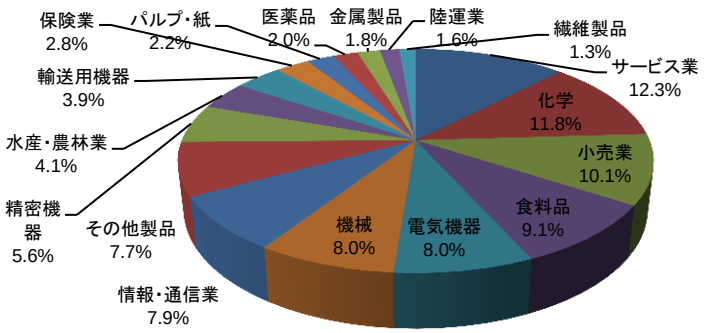
当月は、開示基準に達していませんが決算時に保有していた未開示の2銘柄を、公表しています。

市場別構成比



・時価総額5,000億円以上の銘柄を大型株、時価総額1,000億円以上の銘柄を中型株、時価総額が1,000億円未満の銘柄を小型株としています。

業種別構成比



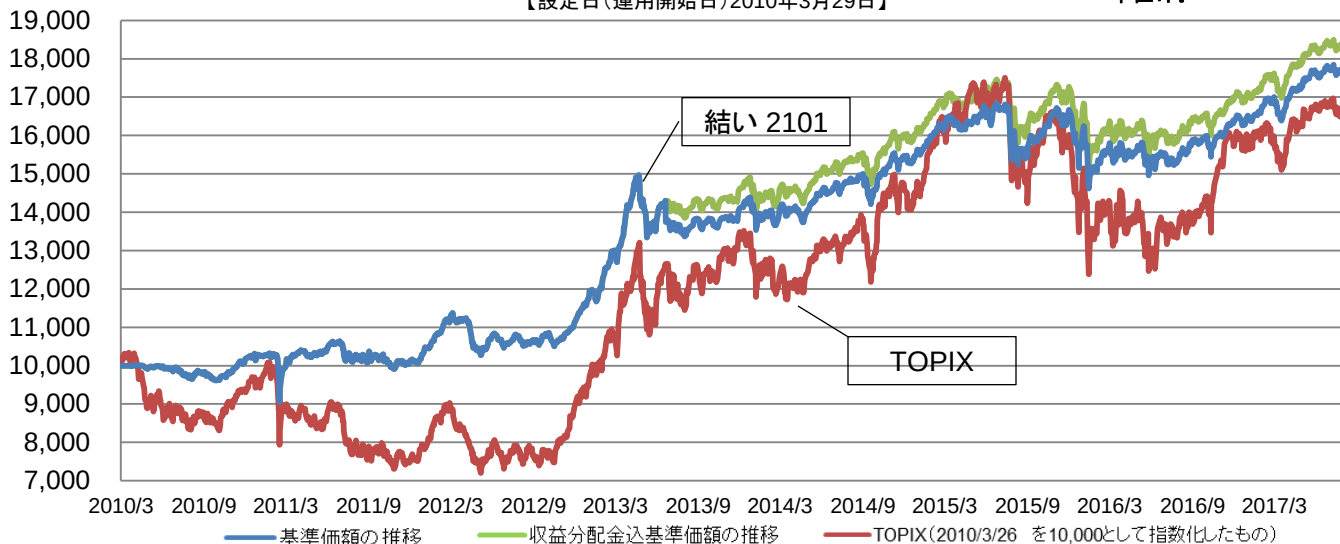
運用パフォーマンス

【基準日:2017年8月末日】

基準価額の推移

【設定日(運用開始日)2010年3月29日】

単位:円



- 「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、「結い 2101」の信託報酬率1.08%(年率・税込)を控除後のものです。
- 「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
- 「収益分配金込基準価額」とは、収益分配を実施しなかった(=収益分配金を非課税で口数を増やさず再投資した)ものとして計算した基準価額に相当する値で、当社にて算出しています。
- 「結い 2101」はTOPIX等をベンチマークとした運用ではありませんが、国内株式市場との連動性の程度を確認するため、参考としてTOPIX指数を掲載しています。

運用成績

	結い2101	TOPIX
リターン		
1ヵ月	0.8%	-0.1%
1年	15.7%	21.7%
3年	20.6%	26.6%
5年	74.1%	121.1%
設定来	85.2%	67.4%
5年(年率換算)	12.0%	17.6%
5年間リスク(年率換算)	9.4%	20.9%
5年間リターン/リスク(年率換算)	1.3	0.8

収益分配金の支払い実績(1万口あたり)

第4期	2013年7月19日	500円
第5期	2014年7月22日	0円
第6期	2015年7月21日	0円
第7期	2016年7月19日	0円
第8期	2017年7月19日	0円

設定来合計

500円

- 分配金は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。
- 「結い 2101」は収益分配金再投資型の投資信託です。
- 左記のリターン/リスクは、支払済み収益分配金(税引前)を再投資した場合の分配金込の数値です。リターンは、実際の個別のお客様の収益率とは異なります。
- リターンの5年(年率換算)とは、直近5年間の収益分配金込基準価額の騰落率を年率換算で表示したものです。
- 5年間リスク(年率換算)とは、直近5年間の収益分配金込基準価額の日次騰落率の1標準偏差を年率換算で表示したものです。
- 5年間リターン/リスク(年率換算)とは、5年リターン(年率換算)の値を5年間リスク(年率換算)の値で除したものです。

本資料は、鎌倉投信によって作成された、投資家向けの情報提供資料で、投資信託販売用資料ではありません。

<資産運用に関する注意事項>

投資信託のお申し込みの際には、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願いいたします。

・投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護対象にはなりません。

また、「結い 2101」は、投資者保護基金の対象でもありません。

・投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。

・本資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

・本資料に記載の内容は、将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。

また、本資料は、鎌倉投信が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料の使用権は、鎌倉投信に帰属します。

・「結い 2101」をご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面および金融商品の販売等に関する法律に基づく重要事項の説明等の重要事項説明書をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、内容をよくお読みください。

・「結い 2101」の投資信託説明書(交付目論見書)については、鎌倉投信までお問い合わせください。

<苦情処理措置および紛争解決措置について>

鎌倉投信は加入協会から苦情の解決および紛争の解決のあっせん等の委託を受けた特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター(連絡先:0120-64-5005)を利用することにより金融商品取引業等業務関連の苦情および紛争の解決を図ります。

鎌倉投信株式会社:金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長(金商)第2293号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

鎌倉投信株式会社 鎌倉倶楽部 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下四丁目5-9 TEL 050-3536-3300 (代表) FAX 050-3536-3301

© Kamakura Investment Management Co.,Ltd.